



ガレージライフは自分だけでなく、家族や仲間とみんなで楽しむ場所だという榎田さん。ご家族の理解を得ることはガレージを持つ上で重要なポイントなのである。



1 ■アメリカの公衆電話をガレージ前に設置している。なお組合板を使ったケースは、自身で曲げて作ったオリジナル。何でもDIYで作り上げてしまおう。2 ■ココスヤシやソテツなど、数十本単位で植えられている。この雰囲気を活かし、アパレルのカタログ撮影なども行われている。

様々なメンテナンスに対応するために、カーリフトの設置は必須だった。それだけではなく、ハンドツール満載のツールキャビネットをはじめ様々な工具有意され、幅広い作業を行える。



榎田裕哲さん、裕子さん、りんかちゃんの3人家族。ガレージのある生活を家族一緒に楽しんでいる様子が伝わってきた。

## 好きなことを存分に楽しむために作り上げたガレージ

に自分の手で家とガレージを建てたいと考えて建築関係の道を進むことを選んだのです。20代のころから、とにかく日中はがむしゃらに仕事をして夜はクルマいじり、それをずっと続けてきた結果、夢に描いてきたスタイルのガレージと住まいを持つことができました」と榎田さん。

3年程時間を費やして探して見つけたという土地は340坪あり、もともとガソリンスタンドがあった場所だそう。どうりで道に面しているながら広々しているはずである。

クルマの整備をすることを前提で設計したガレージは、天井が高く設定されておりリフトも設置されている。メンテナンスもカスタムもほとんどのことを自身で行うそうで、工具やスペシャ

ルツールなども満載だ。

そして大きなポイントとなっているのが、壁一面に描かれた映画フライデーのグラフィティだ。強烈なインパクトでガレージを印象付けている。

「アメリカのカーガイがガレージやバックヤードで自身のクルマをコツコツと作り上げる姿に共感していました。さらにそこには大切な家族がいて週末には仲間が集ってBBQをしたり、手塩に掛けた愛車に乗り家族や仲間とクルージングを楽しむ、そんなライフスタイルを楽しむためのステージをず

っと理想に考えて来て、ようやく実現したのです。これからもフリーラインやウイエネベゴのレストアなどをこのガレージで楽しんでいきたいです」と榎田さんは話してくれた。



これだけ広々とした空間を作るには鉄骨造でなくてはならなかった。なお住居は本造で建てられており、アメリカンかつリゾートのようなスタイルで纏められている。



向かって一番右側のガレージには1948年式のシボレー・フリーラインが収まっている。オリジナル状態の個体であり、今後時間を掛けて仕上げてゆくそうだ。

01

千葉県 榎田邸

### Planning Data

施主	榎田裕哲さん
所在地	千葉県
竣工	2017年12月
外装仕上げ	ガルバリウム角波鉄板
内装仕上げ	鉄骨表し、合板、塗装
ガレージ面積	115㎡
敷地面積	1123.72㎡
構造	鉄骨造
愛車	1962年式 シボレー・インバラ 1948年式 シボレー・フリーライン 2005年式 ダッジ・ラム1500 1996年式 ウイエネベゴ・ミニ など

### Owner's check

- ガレージのここがお気に入り  
広さ、レイアウト、雰囲気など全体的にやりたかったことをすべてできているので満足しています。
- ちょっと失敗  
特にありません。
- これからの夢  
フリーラインやキャンピングカーも仕立てますし、ガレージは内装をはじめ理想とする完成形に近づけていきたいです。
- 読者へのアドバイス  
限られた予算の中で理想の形に纏めるために、コストを掛ける部分、DIYで作業し金額を抑える場所など、メリハリを持ってガレージライフを楽しむと良いのではないのでしょうか。

### Builder

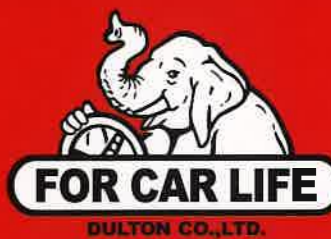
設計・施工	日伸建設株式会社 千葉県茂原市早野1976 Phone:0475-24-0555 www.nishinkensetsu.co.jp/
-------	---

# DULTON



“DULTON CAR ITEMS”  
**FOR CAR LIFE**

[www.dulton.jp](http://www.dulton.jp)



9784777026708



1929476015006

ISBN978-4-7770-2670-8

C9476 ¥1500E

## GarageLife アメリカン vol.11

発行人：西田宏  
編集人：石原淳  
発行所：株式会社ネコ・パブリッシング <https://www.neko.co.jp>  
〒141-8201 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア  
☎ 049-257-4731 (コールセンター)  
☎ 03-5745-7808 (編集・広告)  
発行日：2022年7月29日  
定価 1650円 本誌1500円(税10%)  
雑誌 67332-70 PRINTED IN JAPAN